

会 議 録

件 名	令和４年度 第４回丹波市選挙管理委員会		
日 時	令和４年９月１日（木） 午前９時２５分～午前１０時５０分	場 所	丹波市役所２階 中会議室
出席者	矢本正巳委員長、中西邦雄委員長職務代理者、芦田孝紀委員、足立祥子委員 荒木一書記長、青木明美書記、大南紳書記		
1 開会・・・書記長 2 委員長あいさつ 3 協議事項 ○議案第16号 選挙人名簿に登録する者及び選挙人名簿から抹消する者について 《異議なく原案のとおり決定》 ○議案第17号 誤載により選挙人名簿から抹消する者について 《異議なく原案のとおり決定》 ○議案第18号 選挙権を有する者の50分の１、３分の１の数について 《異議なく原案のとおり決定》 ○議案第19号 在外選挙人名簿から抹消する者について 《異議なく原案のとおり決定》 ○議案第20号 丹波市議会議員及び丹波市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について 《異議なく原案のとおり決定》 4 その他 (1) 第26回参議院議員通常選挙の結果について <書記> (「選挙の記録」により概要を説明) <委員> ・「選挙の記録」は作成することが定められているのか。 <書記長> ・法的な定めはなく、政令市等では作成されていたが、丹波市では平成28年の市長・市議選から作成を始め、今回で10号となっている。次の選挙のために、非常に役に立つものである。 <委員> ・参議院選で、一般市民からの苦情や意見はなかったのか。 <書記長> ・通常の「入場券が届かない」などの苦情は入ったが、それ以外、選挙の根幹の部分に関する苦情や問題はなかった。 <委員> ・市別投票結果について、朝来市や養父市の投票率が高いが、この結果の分析はしているのか。何か特徴はあるのか。			

<書記長>

- ・過去から、北部は投票率が高い。また、比較的、平成の大合併による市は、投票率が高い傾向にある。

<委員長>

- ・年齢別投票結果について、18歳は高校生で投票率が高いが、19歳から22歳までが低い。おそらく大学生だと思われるが、丹波市に住民票はあるが実際には住んでいないから投票もしない。この年齢層を何とかすれば、全体の投票率が上がるのではないか。

<書記長>

- ・委員長ご指摘のとおりだと思っている。住民票の制度から言うと、主たる居住地へ移すべきではあるが、それができていないのが現状。住民票を丹波市に残している人は丹波市に選挙権があるため、「滞在地における不在者投票」をしていただきたいが、学生の皆さんには、なかなかその時間が取れないのか、不在者投票をする人数は非常に少ない。今回の参院選で40名程度。これはおそらく、全国的な課題であると思う。

<委員長>

- ・投票率にコロナの影響は感じるか。

<書記>

- ・コロナ感染者に対しては、特例郵便制度が設けられており、自宅療養の方も自宅で投票ができるため、特に影響は感じていない。

<書記長>

- ・国が緊急で取った特例措置。参院選では1名の投票があった。

(2) 常時啓発について

<委員>

- ・投票率のアップを目指して、私たちの任期のうちに何か改革をしたい。今後は、この委員会の会議の際には、必ず啓発に関するアイデアを出し合うようにしたい。

<委員長>

- ・本日も常時啓発について協議する。

<委員>

- ・これを毎回続ける。それぞれが思いついたことをこの場で言い合うようにし、1年かけて考えていけばよいと思う。

<委員長>

- ・閑散期に、月に1回程度委員会を開催するという方法もある。

<委員>

- ・半年に1回程度は、明推協にもご出席いただくとよい。

<書記>

- ・常時啓発（案）について説明。

<委員>

- ・案であるが、実際に実施しているものもあるのか。

<書記>

- ・出前講座等、県選管と連携して実施しているものもある。

<委員長>

- ・この案の中で、今後の日程に取り込めるものはあるのか。10月、11月頃に委員が参加できるようなものはあるか。

<書記>

- ・小中学生の主権者教育については未定だが、令和5年2月下旬に氷上高校での出前授業を予定している。

<委員長>

- ・小中学生を対象にするなら、校長会へ依頼すればよいのではないかな。

<委員>

- ・若者の中には、市役所や議会が何をしているのか知らない人が多い。議会の仕組みを教えることも大切だと思う。学校で、議会見学会はあるのか。技術的なことではなく、政治的な教育から入っていく方がよい。自分たちが選んだ議員が何をしているのかを見せることから入っていく方がよいのではないかな。

<書記長>

- ・新学習指導要領で、主権者教育について、小学校の社会科の授業でしっかり学ばせることになっているので、小学校では取り組んでいるようである。指導主事の意見としては、模擬投票等は中学生を対象にする方がよいとのこと。小学生については、教諭が主権者教育を行っているので、どこまで選管が入っていくのか、事前に教育委員会との調整が必要。

<委員>

- ・そういったことを踏まえて、今後この委員会で協議していけばよい。

<書記長>

- ・来年度の予算については、この委員会の会議の回数を増やす方向である。例年は、年間3回程度の会議の予算しかとっていないが、主権者教育や常時啓発、明推協との協議、また6年度執行予定の市長・市議選に向けた取り組みのために、会議の回数を増やす予算編成を考えている。

<委員>

- ・3か月に1回の定例の会議では、決まった内容のことしか審議できない。

<書記長>

- ・平成28年の市長・市議選の前の年には、毎月選管の会議を開催した。私が係長をしており、啓発等について何度も話し合いをした経験がある。委員の皆様にも、前向きな意見をたくさんいただき協力をいただいた。

<委員>

- ・定例会で、数字の報告を聞いているだけでは、やりがいがない。改革や改善をするなら、それを中心とする会議を開催するべきである。明推協と一緒にしてもよい。

<委員長>

- ・10月に1度開催してはどうか。その後、明推協にも全体会を開催してもらおう。啓発活動については、明推協の意見も聞かなければならない。

<委員>

- ・箕面市の友人から、箕面市選管の「投票済証」のポストカードをもらった。とてもよいアイデアだと思う。丹波市も、県議選に向けて年賀状用のポストカードの作成を考えてみてはどうか。投票所の巡回をした際、投票済証をどれくらい発行されたかを聞いたが、ほとんど発行していなかった。投票済証のPRも必要ではないかな。

<委員長>

- ・それを具体的に進めるなら、新年度予算に組み込んでどうか。

<委員>

- ・朱印の投票済証の案が出ていたが、これを極めれば、朱印を目当ての人が増えるかもしれない。

<委員>

- ・選挙率アップの焦点は若い人。若い人の投票率を上げることを中心に考えていけばよい。

(3) 一般質問について

<委員長>

- ・一般質問の内容は、若い人を対象としていない。

<委員>

- ・技術的な問題ではないと思う。バスを出したから投票に行くというものではない。時間はかかるが、若い人に自分たちの将来を考えさせるような教育が必要。

<委員長>

- ・60歳以下の勤務している人が、投票しやすい体制にするとか、子供を投票に連れて行きやすい体制にするとか、そういうことを考えるべきである。

<委員>

- ・デマンドバスは今でも利用できるのではないのか。

<委員長>

- ・利用について補助をしてほしいという意味。

<書記長>

- ・昨年度の県知事選と衆院選の際、福田自治会の移動支援を行ったが、利用者は100%ではなかった。お迎えに行き、投票所までお連れしますと言っても利用されない。そういう手法を取っても効果的ではないと思う。

<委員長>

- ・ワゴン車で巡回するのなら、企業や会社など、若い人に投票していただけるように検討をしたいと思うが、なかなか難しいという答弁にする。デマンドの件も、若い人は自分で来るので、ここに費用をかけると、高齢者ばかりを有利にしていると思われかねない。

<書記長>

- ・議員の質問は、高齢者や身体の不自由な方をターゲットにしている。

<委員長>

- ・若者の投票率を上げるために、商業施設での投票というのは考えられなくもない。他の市町で実施しているところもある。ゆめタウンやコープならできるのではないのか。職員が足りないのか。

<書記長>

- ・職員の人数確保と、システムの問題がある。トータルで見て考えていきたい。

<委員長>

- ・柏原地域と氷上地域は商業施設で投票することにしてはどうか。

<委員>

- ・ゆめタウンのゆめ広場は使うべき。買い物に来た人が、選挙をしている風景を見ることで啓発になる。

<書記長>

- ・こちらは選挙第一で考えるが、先方は営業第一。そのあたりの丁寧なやりとりと細かな協議が必要。十分に精査して取り組んでいかなければならない。公共施設であれば、選挙を優先してもらえるが、商業施設では難しいところがある。

<委員長>

- ・市民プラザに期日前投票所を設けてはどうか。

<書記長>

- ・それも含めて、今後検討していく。

<委員長>

- ・丹波篠山市が、駅に投票所を設置している。

<書記長>

- ・効果がなかったのでは今はない。

<委員>

- ・今後、毎回こういうことを検討していくのもよいが、先進地への研修も必要ではないか。

<委員長>

- ・商業施設に投票所を設けているところを調べて、先進地視察に行ってはどうか。

<書記長>

- ・県下で探してみる。

<委員長>

- ・10月の会議で具体的に決めていくこととする。

5 閉 会…委員長職務代理者

○ 傍聴人の数…0人